



アイリスオーヤマ・クラシックスペシャル2025

王道か異端か

ベートーヴェン

ピアノ協奏曲 第5番

変ホ長調 作品73

「皇帝」

マーラー

交響曲 第1番ニ長調

「巨人」

指揮／広上淳一

管弦楽／仙台フィルハーモニー管弦楽団

ピアノ／小川典子

サントリーホール

◎東京メトロ南北線「六本木一丁目駅」より 徒歩約5分
◎東京メトロ銀座線・南北線「溜池山王駅」より 徒歩約10分
◎都営01系統バス(渋谷～新橋)「赤坂アーケヒルズ前」より 徒歩約3分

全席指定 チケット発売日: 2025年1月26日(日)

S席: ¥8,000 A席: ¥7,000
B席: ¥6,000 C席: ¥5,000
P席: ¥4,500 ユース席*: ¥1,500

*ユース席は演奏会当日25歳未満の方が対象。取り扱いにはジャパン・アーツぴあのみとなります。
年齢の証明となるものを提示のうえ、公演当日チケットと引き換えます。お席の指定は応じかねます。

5/21水

19:00開演 | 18:15開場

チケットのお求めは

- ジャパン・アーツぴあ
TEL.0570-00-1212 www.japanarts.co.jp
- 仙台フィルサービス
TEL.022-225-3934 www.sendaiphil.jp
- サントリーホールチケットセンター
TEL.0570-55-0017
- チケットぴあ t.pia.jp [Pコード: 285-945]
- ローソンチケット l-tike.com [Lコード: 32325]
- イープラス eplus.jp

主催: アイリスオーヤマ株式会社

共催: 公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団 株式会社ジャパン・アーツ

※未就学児の入場はご遠慮ください。※開演中の入退場は一切お断りいたします。※やむをえない事情により出演者及び曲目が変更になる場合がございます。※不可抗力により表記日時の催物を中止する場合以外、料金の払い戻しをいたしません。

「皇帝」協奏曲と「巨人」交響曲！

まさに王道を行く組み合わせではないか！

正統派、主流、物ごとが進むべき正しい道筋を

王道と言う。いや、ちよつと待てよ。

独奏者の即興芸だったカデンツァを、

楽曲構造の中にプレインストールした

「皇帝」協奏曲。

静まり返った霧の中から

透明な音が生まれ、

遠くに角笛やらカッコウの鳴き声やらが

聴こえてくるマーラーの交響曲。

後世の者たちが規範とし、

時には模倣することで学ぶお手本たるものが

「王道」だとすれば、

王道か 異端か

おうじょう

この2曲はむしろ

「異端」と呼べるほど独特だ。

力強く絢爛で、天上の美しさを紡ぎ、

壮麗なギャロップを駆けるベートーヴェン。

溢れる活気、コラージュのように移り変わる楽想、

嵐を抑えて歓喜が湧き上がる、

物語のようなマーラー。

いずれも他の追従は許さない。

王道であり異端でもある「唯二」の名曲なのだ。

広上淳一、小川典子、ふたりの稀代の名手から

翼を授けられ、

仙台フィルは大きく羽ばたくに違いない。

作曲家／吉川和夫



© Maasaki Tomiton.

指揮：広上 淳一

Conductor : Junichi Hirokami

尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳でキリル・コンドラシン国際指揮者コンクールに優勝。ノールショピング響、コロンバス響など欧米のオーケストラで数々のポストを歴任。コンサートヘボウ管、イスラエル・フィル、ロンドン響、サントペテルブルク・フィルなどへも客演を重ねる。日本では2022年まで14年にわたり京都市響常任指揮者を務め黄金時代を築いた。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティストリック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一。東京音大指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。2025年よりマレーシア・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督に就任。

ピアノ：小川 典子

Piano : Noriko Ogawa

英国と日本を拠点に国際的で多彩な活動を展開中。数々の世界的オーケストラとの共演や、リサイタル、マスタークラスを行う他、国際的なコンクールで審査員を務める。浜松国際ピアノアカデミー音楽監督。浜松国際ピアノコンクール審査委員長。国際音楽コンクール世界連盟役員。英国ギルドホール音楽院教授。東京音楽大学特任教授。ミュゼザ川崎シンフォニーホールアドバイザー。ジェイミーのコンサート主宰。文化庁芸術選奨新人賞受賞。

[オフィシャルHP]
<http://www.norikoogawa.com/>



Patrick Allen

管弦楽：仙台フィルハーモニー管弦楽団



1973年に宮城フィルハーモニー管弦楽団として創立。1989年仙台フィルハーモニー管弦楽団に名称を変更。2011年の東日本大震災では数ヶ月間活動を中止せざるを得ない状況となったが、室内楽等で音楽を被災者のもとに届ける活動を展開し絆を紡いだ。本拠地である日立システムズホール仙台での定期演奏会をはじめ、特別演奏会、全国小中学校訪問演奏会、また「仙台国際音楽コンクール」のホストオーケストラとして出演、「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」でも広く市民に親しまれるなど、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。2023年に創立50周年を迎えた。



水拭きができる清掃ロボット

BROIT

ブロイト

強力な床洗浄で質の高い床清掃を実現する
スクラパーロボット誕生



日本の床清掃は
ここまで来た。